

・広島県地域結集型共同研究事業の総括

広島県では、地域型 COE として広島県産業科学技術研究所を広島中央サイエンスパーク（東広島市）に整備した。

広島県地域結集型共同研究事業「再生能を有する人工組織の開発」は、同研究所における研究開発の大きな柱として、広島県及び（財）ひろしま産業振興機構が科学技術振興事業団との共同で推進してきたものである。

5年間の事業実施により、後述するとおり様々な研究開発成果が得られただけでなく、同研究所を中心とした産学官共同研究の仕組みづくりが行われ、多くの若手研究人材の育成も行われた。特に、これら研究人材の中には、事業実施期間中に共同研究参画企業へ移籍した者もあり、研究成果に基づく事業化に向けて貢献している。

また、事業実施機関中に研究開発型のベンチャー企業も設立されるなど、研究成果を事業化につなげる具体事例も示され、地域におけるライフサイエンス分野の産学官連携の気運を高めることができた。

同研究所は、地域型 COE としての機能を、着実に果してきたといえる。今後は、これらの取り組みをより一層充実させるため、「知的クラスター創成事業」等により、ライフサイエンス分野における産学官連携に集中的に取り組み、同研究所を地域型 COE として持続的に運営していくとともに、地域における研究開発機能の集積を図っていきたい。